

築100年超の日本家屋を モダンで丈夫な “現代の住み継ぐ” 住まいに再生

社長をはじめ、
 スタッフの方々のおかげで、
 大勢の友人も呼べる
 楽しいわが家になりました!



白い壁に濃茶の格子、そして瓦屋根。凛とした佇まいの手島邸は、築100年を超える日本家屋をリフォームしたものです。手島様は、新築を考えつつご主人の友人である住まいプロホームウエル唐津の社長に相談。そこで社長は、空き家だったこの家を購入して改築することを提案しました。「この地域は古い空き家が多くて。その一方で、スクラップ&ビルドという現状も。そこで、住み継げる家づくりを提案することで、地域の活性化につながればと考え、手島様も

その意見にご賛同いただきました。もともとご主人も古民家に興味があったので、ここを新たな住まいの場を選びました。迫力のある木組みを活かした温かな空間
 玄関を入ると、ダイナミックな木組みと吹き抜け。そして、鉄骨の階段がアクセントを添える、ご主人のイメージを形にした空間に圧倒されます。そして先へ進むと、白を基調に、木の温もりを活かしたLDKが。「家の相談中にもう一人を授かり、4人になる子どもたちがの

LDKは梁や柱を活かしながら明るく開放的な空間に。オープンな対面式キッチンでは家事をしつつ、家族や友人と会話も楽しめます。ソファ奥の格子は構造上、抜けない柱を利用。テレビの背面の壁に貼られたLIXIL「エコカラット」がモダンな雰囲気を醸し出して。

びのびと遊べるように、広い空間がほしかったんです」と奥様。そこで、構造上外せる柱は抜いてワンルーム空間に。もちろん、構造計算のうえ壁面を強化するなど、耐震補強も万全に。また、ひと続きにある和室にはデッキを設け、庭も確保しました。デザインは、ご夫婦の希望で

昔ながらの梁や柱は表しにしつつも、30代のご夫婦になじむ、モダンで明るい仕上がり。「私の希望だった対面式のキッチンも使いやすいし、収納も十分。段差もないので家事もしやすいです」と奥様。ご主人も理想の家で「満足そうにリビングでしみじみお酒を飲んでいきます」。

この家のダイナミックさがいちばん感じられる2階の天井。壁の一部には、以前の戸にあった飾りを活かしました。昔ながらの木組みの梁は金具などの補強がいらなかったほど、実にしっかりとしています。



A キッチンには壁面収納や食品庫も設けました。DKの近くにはご夫婦がパソコンをしたり、お子さんが宿題をするワークスペースが。
B ご夫婦で選んだアンティーク家具もなじむリビング。床は木目調のフローリングシート、壁・天井はクロス仕上げ。和室の左には玄関からも出入りできるガレージも。いずれご主人の愛車が収まる予定。
C 玄関はご主人の希望で設置した鉄骨の階段がアクセントを添える迫力ある空間。リビングとダイニングを自由に回遊できるよう、引き戸を2つ付けました。



2階北側にある子供室。天井の梁はもちろん、ダクトも黒く塗装して、デザインの一部に。将来は2つに仕切られるように扉も個別で付けています。



BEFORE
 空き家状態で、室内は古くて細かく仕切られ、住むには手直しが必須でした。



①登記簿に建築年月が載っていないほど古い家を見事に再生。改築前はかなり大きかったため、減築をしてほどよい広さを確保。②東南側の玄関は車の多い道路に面しているため、アプローチは格子を組み込んだ塀で目隠し。家も気密・断熱性を向上させ、静かで快適に。③洗面室は物干しスペースもあり、天気に関係なくたくさんの洗濯物が干せて便利。正面の窓の先が塀のあるアプローチなので効果的な通風を考え、LIXILのすべり出し窓を横並びに2つ設置。

DATA	家族構成	6人(夫婦+子ども4人)
	築年数	100年以上
	工期	6カ月
	施工店	住まいプロ ホームウエル 唐津

